

スポット受講
詳細は2ページ
料金
1,000円/回
3回限り



期間 令和7年5月31日(土)～令和7年8月2日(土) [全6回]

実施場所 九州女子大学 弘明館
〒807-8586 八幡西区自由ヶ丘1-1 (36ページアクセス参照)

申込・問合せ先 九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター
〒807-8586 八幡西区自由ヶ丘1-1
TEL:693-3134 FAX:603-6453

時間 10:30～12:00

応募締切

5月16日(金)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 20名

受講料 4,500円

受講生への
メッセージ

実施機関：九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター

多様な文化的背景を持つ人たちが共存・共生していくことが求められています。さまざまな文化を「知る」こと、「理解する」ことが共生のための第一歩だと思います。文学や芸術作品などを通して、日本や他国の文化と私たちの考え方や生き方の背景にあるもの、価値観を味わいながら学ぶ講座を開催します。週末のひとつ、共に知の旅を楽しみましょう。

回数	月 日	テーマ・内容	担当講師
1	5/31 (土)	『萬葉集』の挽歌を読む 柿本人麻呂が詠んだ「出雲娘子挽歌」は、火葬された娘の死を悼む挽歌です。当時、新しい葬送方法であった火葬に関わる表現を読み解き、当時の死生観について考えます。	九州女子大学 講師 安井 絢子 専門は日本の上代文学。 『萬葉集』の歌の表現について研究しています。
2	6/7 (土)	中世の神話—アマテラスと第六天魔王 中世には古代とは異なった新たな神話が多く形作られました。今回はその中からアマテラスと第六天魔王の神話を紹介します。	九州女子大学 准教授 柏原 康人 専門は日本の中世文学。神話や伝説を中心に研究しています。
3	6/28 (土)	俳句の可能性と魅力 俳句の鑑賞や創作などを通して、わずか17音からできる表現の可能性、魅力を探ってみましょう。	九州女子大学 教授 江口 恵子 専門は国語科教育法(教職)。 日本語表現法も担当しています。
4	7/5 (土)	三島由紀夫『金閣寺』を読む 2025年は三島由紀夫の生誕100周年に当たります。思想的・政治的主題を持った純文学から大衆小説まで幅広く活躍した三島の代表作『金閣寺』を中心に、その魅力に迫ります。	九州女子大学 教授 古浦 修子 遠藤周作を中心に、日本近現代文学とキリスト教の関係について研究しています。
5	7/12 (土)	民衆文化のヒーローたちの変身 英語圏の民衆文化であるバラッドの世界には遠い中世から現在まで変身を繰り返しながらうたい継がれたヒーローがいます。その中から「うたびとトマス」と「ロビン・フッド」の変身をたどり、その意味を考えてみます。	九州女子大学 教授 中島 久代 英語圏の伝承文学のイギリス・スコットランド詩への影響を研究しています。
6	8/2 (土)	漢字のおもしろさ再発見 人に関わる漢字を取り上げ、その成り立ちと、他の漢字との関係も考えます。	九州女子大学 准教授 古木 誠彦 書家。古代中国青銅器銘文・碑文、古典籍、漢字の成立ち等を研究しています。